PART3 じ

じ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	じ	○	○	じ	じ	じ	○	無変化型

【意味】＝「　　」の打消

①　打消推量（〜ないだろう）

②　打消意志（〜ないつもりだ）

〈見分け方〉＝主語確認

○一人称　→「　　　　」

○それ以外→「　　　　」

問六　「これ程の事はよもあらじとて…」の傍線部の意味として、最も適当と思われるものを、次の中から一つ選べ。

1　可能　2　自発　3　完了　4　受身　5　打消推量

6　意志　7　強意　8　過去　9　推量　10　現在推量

〈Memo〉

第10講 PART3 確認問題

① 助動詞「じ」に関する説明文の空欄ａ・ｂに入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

助動詞「じ」は未然形に接続し、活用の型は無変化型である。文法的意味を考えるときは、主語を確認する。主語が一人称の場合は［ａ］で、それ以外の場合は［ｂ］である。

ア　ａ　意志　ｂ　現在推量　　イ　ａ　自発　ｂ　推量
ウ　ａ　打消意志　ｂ　打消推量　　エ　ａ　打消推量　ｂ　打消意志

② 傍線部の文法的意味と活用形の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

（帝はかぐや姫を）はじめて御覧じつれば、類（たぐひ）なくめでたくおぼえさせ給ひて、「許さじとす。」とて、率ておはしまさんとするに、…

ア　現在推量・終止形　　イ　打消意志・終止形　　ウ　意志・連体形　　エ　推量・連体形

③ 「勝つべきいくさに負くることもよもあらじ。」の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　過去　　イ　強意　　ウ　現在推量　　エ　打消推量

④　傍線部ａ・ｂの文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

そのをとこ身をえうなきものに思ひなして、京にはあら[a]じ、東の方に住むべき国求めにとて行きけり。おしなべて峯もたひらになりななむ山の端なくは月も入ら[b]じを

ア　ａは打消意志、ｂは打消推量の助動詞である。
イ　ａは意志、ｂは推量の助動詞である。
ウ　ａは打消推量、ｂは打消意志の助動詞である。
エ　ａは可能、ｂは意志の助動詞である。

⑤　ある人物が、清少納言に言った言葉である、「さりとも、見つくるをりもはべらむ。さのみもえかくせ給はじ。」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　必ずお隠しになることだ。
イ　いつかお隠しになるつもりだ。
ウ　とてもお隠しになれないだろう。
エ　きっとお隠しになるに違いない。

第10講　PART3　解答

問六　5

第10講　PART3　確認問題　解答

〔解説〕

① 助動詞「じ」の文法的意味は、主語が一人称の場合は打消意志（〜ないつもりだ）、主語がそれ以外の場合は打消推量（〜ないだろう）である。よって、ウが正解。

② 帝がかぐや姫に対して、「(私はあなたが離れることを) 許さないつもりだ」と言っている文脈である。主語が一人称なので、打消意志。引用の「と」に接続しているので、終止形。よって、イが正解。

③ 主語が「勝つべきいくさに負くること」で三人称なので、「じ」は打消推量。「よもあらじ」は「まさかないだろう」という意味。よって、エが正解。

④ a「そのをとこ」が、「(私は) 京にはいないつもりだ」と思っている文脈で、主語が一人称なので、打消意志。b主語が「月」で三人称なので、打消推量。よって、アが正解。

⑤ 主語が清少納言で一人称以外なので、「じ」は打消推量。よって、ウが正解。

〔解答〕

① ウ　② イ　③ エ　④ ア　⑤ ウ